

背景がわかれば
ニーズが見える

生命保険 営業

ハンドブック

20代



就職・自立・一人暮らしと、20代は自分の人生の基盤を築き始める世代。まだ保険の必要性は実感しにくい反面、将来への備えを始めるなら絶好のタイミングです。本章では20代のライフスタイルや経済状況を捉え、保険ニーズの芽をつかむ視点を紹介します。

20代

キャリアや人間関係、暮らし方など「初めての变化」が重なりやすい

20代は、「自分はまだ若いから健康に自信がある」と思いがちで、あまり生命保険に関心が高い世代とは言えません。しかし一方でライフステージの変化に戸惑い、将来に対する漠然とした不安を抱く傾向にあります。

特に就職したばかりの時期は、仕事も人間関係も初めて経験することの連続で、生活環境の変化も重なって強いストレスを感じるケースが少なくありません。メンタルに起因した体調不良にも、十分気をつける必要があるでしょう。

保険についてはお金がないことを理由に加入しない傾向も見られますが、「お金がないからこそ保険に入る」という視点に気づいてもらえるかどうか、提案の大きなポイントとなります。

主な心配ごと

結婚や仕事などこれからの人生を思い描きながら、貯蓄や保険などの備えも気になり始める時期です。ただ、何から手をつければいいのか分からないまま、日々が過ぎていくという方も少なくありません。



20代のペルソナ像

年代の特徴を踏まえた男女のペルソナ像を見てみましょう。P.16からは、このペルソナ像を参考にアプローチトーク集をご紹介します。

20代

このまま今の仕事を
続けても
大丈夫だろうか？



山田和夫さん(28歳)

中小メーカーの営業職として勤務。一人暮らしを満喫しているが、将来的には結婚したい。

属性

- 年収…………… 400万円
- 職業…………… 営業職
- 同居人…………… なし

お金の価値観

貯蓄はそれなりにしているが、生活費(特に食費)を切り詰めたくない。

生活の状況

現在の仕事は充実しているものの、昇給ペースが緩やかな点が気になり、転職も視野に入れている。趣味は食べ歩きで、食費がかさんでしまう月もある。

保険について

低額の医療保険に加入しており、それ以外の保障はなし。保険の見直しは、結婚した時に検討すれば良いと考えて加入時から放置したまま。

30代

40代

属性

- 年収…………… 320万円
- 職業…………… 事務職
- 同居人…………… 父・母

お金の価値観

実家暮らしの恩恵を感じつつ、基本的に収入以上の出費はしない。

生活の状況

両親には毎月5万円の生活費を渡し、家事もできるだけやろうとしている。最近「推し活」でアニメ関連の出費が増えたことが、生活の楽しみであり悩みでもある。

保険について

加入している保険はなし。今まで大きな病気やケガをしたことはなく、肉体的にも精神的にもタフなため、医療保険の必要性もあまりピンときていない様子。

仕事も家族も大切だけど、
今は「推し」が一番大切



佐藤由美さん(24歳)

新卒2年目の会社員。両親との仲は良好で、一人暮らしや結婚の予定も今のところなし。

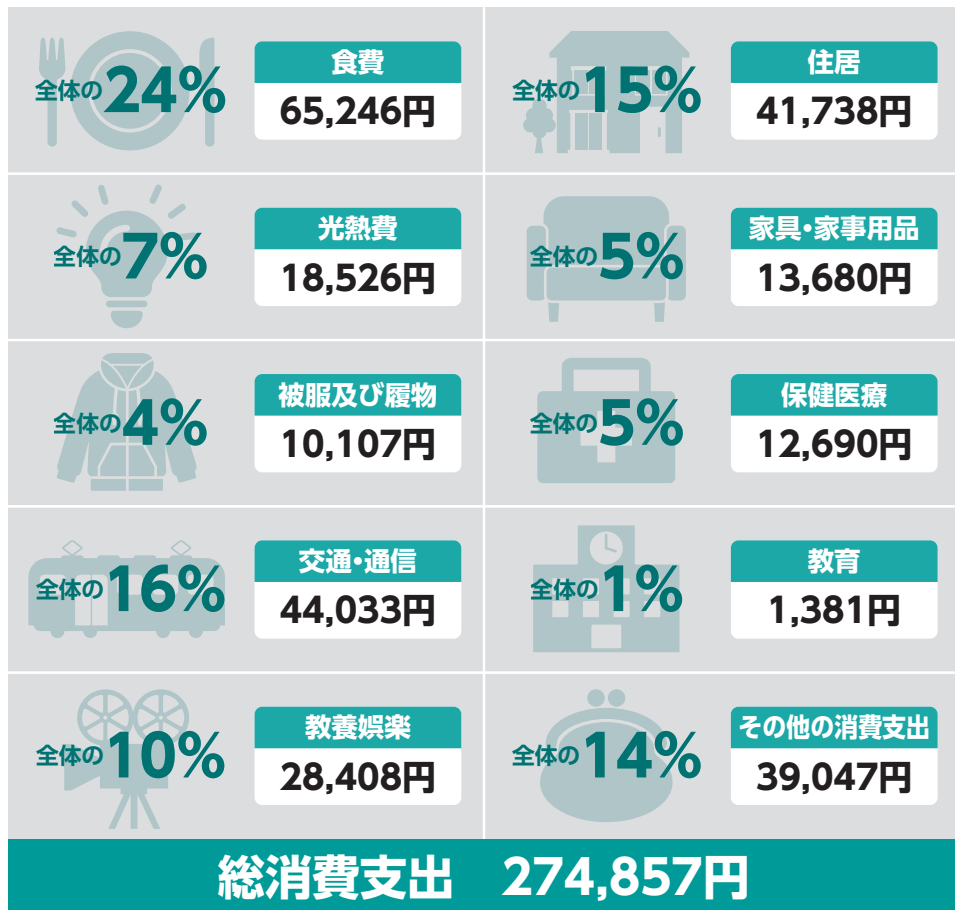
50代

60代以降

20代の生活費

20代前半ならまだ学生か、社会人になってから間もない人が多く、収入も支出も低めの傾向です。家計収支がギリギリで、貯蓄ゼロというケースも珍しくありません。一般的には20代後半になると生活も安定し、徐々に貯蓄できるようになってきますが、結婚しているかどうかで出費の傾向は大きく異なります。

2人以上世帯の主な消費支出



参考 単身世帯(〜34歳)の総消費支出 176,160円

主な生活の変化

20代に訪れる主な生活の変化とは、いったいどのようなものでしょうか？ 様々な統計データから、下記の4つが「20代ならではの」ポイントであることがうかがい知れます。

POINT
1

「まだまだ元気」ではあるものの……

若ければケガや病気になる確率もまだ低い水準ですが、リスクはそれなりに存在します。また、加齢に伴い体力が低下することに変わりはなく、20代後半から自覚する人も少なくありません。

POINT
2

慣れない仕事による不調に注意

社会人生活のスタートを迎え、日々懸命に仕事を覚えている人もいるでしょう。慣れれば特筆することはない場面も、初めての経験なら大きなストレスを感じるものです。場合によっては、それが体調不良やメンタル不調につながる可能性もあり、決して軽視はできない要素と言えます。

POINT
3

結婚・出産を迎える人も

晩婚化が進んでいる現在も20代で結婚・出産を迎える人は多く、貯蓄が少ない状態から子育てをスタートすることに不安を感じるケースがあるかもしれません。ただしその分、子どもの就職・自立などゴールも早い状況なので、資金計画を整理して不安を和らげることが重要になります。

POINT
4

今を楽しむか、将来に備えるか

特に就職して間もないタイミングは、自分で働いて得たお金が貴重なものと感じられ、そのお金で趣味などを存分に楽しむ人もいるはずです。今使いたい分と将来に備える分のバランスは人それぞれですが、いずれにしても後悔が残らないように過ごすことが大切です。

それでは、これらのポイントについて、詳しく見ていきましょう。

20代

30代

40代

50代

60代以降

20代へのアプローチトーク例①

20代の特徴を踏まえて、男性のペルソナ像・山田さんに、実際にアプローチトークをしてみます。ぜひ、セールスの際の参考にしてみてください。

トークのポイント **お金とライフプランに関する価値観の確認**

募集人	山田様、お元気そうで何よりです。 最近行かれたお店で良い所はありましたか？
山田さん	そうですね、この間行った〇〇町のラーメン屋が良かったです。 かなり並んだけど、その甲斐はありました。
募集人	評判のお店は食材から凄くこだわってますよね。 その分、値段にも反映されることが多いですが……。
山田さん	はい、そこでも色々トッピングを追加したら軽く千円を超えました。
募集人	このところラーメンに限らず、色々なお店で値上がりしてますよね。 ランチでも千円近くかかることが増えています。
山田さん	そうなんですよね。 かといって、あまり切り詰めて我慢したくはないですけど。
募集人	私もそう思います。 好きなことは優先したいですよね。 それを踏まえて最近、家計の収支で気になられていることはありますか？
山田さん	うーん、出費は食事以外であまり使わないから大丈夫だと思うけど、収入のほう若干物足りなくなってますね。
募集人	お仕事で、何か変化があったのですか？
山田さん	仕事そのものは楽しいし、結果も出せてると思うんですけど、それに比べて給料があまり上がっていないと感じてます。
募集人	山田様は営業職でしたよね。成果給やボーナスにあまり反映されていないという印象でしょうか。



山田和夫さん(28歳)

中小メーカーの営業職で、年収400万円。一人暮らしを満喫しながら貯蓄している。趣味は食べ歩き。将来的な収入を考えて転職を検討中。現在加入している低額の医療保険以外は、特に追加する予定はない。

山田さん	率直に言えばそうですね。会社の規模的に仕方ないかもしれないけど、反映される金額が抑えられてしまう感じです。
募集人	なるほど、将来的な昇給もあまり見込めないのでしょうか。
山田さん	ちょっと先輩の給料を聞いてみたら、これで家族を養っていくのは正直厳しいかなと思いました。
募集人	ライフプランの前提として、収入にご不安があるということですね。仮にですが、ご結婚されるとしていつ頃をお考えですか？
山田さん	まあ相手次第ですけど、35歳までには結婚して、できれば子どもも育てたいと思ってます。
募集人	ご家族を持つと、ライフプランの考え方そのものが変わってきますからね。例えば保険の見直しなどは考えられていますか？
山田さん	うーん、今のところは考えてませんね。結婚したら見直せばいいと思っています。
募集人	それも一つの考え方だと思います。ただ私も経験しましたが、特に出産後は日々バタバタして、見直しの時間そのものの確保が難しくなります。
山田さん	確かに子育てしてる友達も、全然時間がないって言ってました。
募集人	今すぐ必要とまでは言えませんが、 将来の備えについて頭の中を整理しておくことは、決して無駄にはならない と思います。
山田さん	それも一理ありますね。話だけ、先に聞かせてもらうことはできますか？

20代

30代

40代

50代

60代以降